

日本工営株式会社

2019年3月7日

日本工営 タイ・チュラロンコン大学と MOU を締結 - タイおよび大メコン圏諸国の持続可能な開発への貢献 -

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：有元龍一、以下「当社」）は、2019年2月18日にタイ王国のチュラロンコン大学（Chulalongkorn University）と相互協力に係わる MOU（Memorandum of Understanding）を締結しました。

チュラロンコン大学はタイで最初の高等教育機関として1917年に設立された国立総合大学であり、近年ではタイ国内のみならず、アジアでもトップランクの研究機関として位置づけられています。同大学はバンコクの中心部に広大な敷地を有しており、卒業式は国王によって主催されるなど、名実ともにタイの最高学府として同国の中枢を担う人材を輩出しています。

当社のタイにおける事業活動は、1950年代のメコン河下流域の開発計画策定にさかのぼります。以来、ドンムアンおよびスワンナプーム国際空港事業、東部臨海開発などの国家的事業や、各地の水資源開発、灌漑、道路、鉄道、上下水道、防災、環境案件など数多くの案件を実施してきました。

タイは大メコン圏の中心として、経済発展を遂げてきました。親日国であるとともに多くの日本企業が進出するなど、我が国とも深い関係を有しています。一方、交通渋滞や大気汚染などの都市問題、2011年のチャオプラヤ川流域の洪水などの災害、少子高齢化など、さまざまな社会問題を抱えています。

この度の MOU 締結により、当社とチュラロンコン大学は、インターンシップ等での現地人材育成や、都市・社会課題に対応するための共同研究開発を通じて産学連携を進め、より一層の優位技術開発を目指します。

■日本工営の海外学術研究機関との MOU 締結の状況

当社は中央研究所（茨城県つくば市）を窓口として、海外学術研究機関と以下14件の MOU を締結しています。（※は更新調整中）

①韓国電力研究院※、②タイ アジア工科大学院※、③台湾成功大※、④中華人民共和国清華大、⑤カンボジア工科大、⑥ミャンマー工学会、⑦スリランカ ペラデニア大※、⑧英国ウォリングフォード水理研究所、⑨インド工科大カラプア校、⑩台湾シノテック社、⑪ミャンマー ヤンゴン工科大、⑫マレーシア工科大、⑬インドネシア ガジャマダ大、⑭タイ チュラロンコン大

—お問合せ先—

日本工営株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <http://www.n-koei.co.jp/>